

保育おおさか

平成22年1月1日 第413号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

あけましておめでとうございます



写真：玉串保育園、はるか保育園、四條畷すみれ保育園、弥刀さつき保育園（順不同）

政権交代に伴う今後の保育行政に注目！ スマイルサポーターの府民への周知を図りたい

保育部会長 永野 治 男



昨年は政権交代とともに、「保育は、いったいどうなるのやろ？」が頭をよぎりました。わが国として、今の少子化に対し、国力の衰退ともなる人口減少化に是非とも歯止めを失くしてはならない。

民主党はマニフェストで、60数年間続いてきた「幼保一元行政」により幼保が棲み分けできている中で、平成23年度に『幼保一元化』の制度化をめざすとしています。

全国的に見ても、保育園の約半数が「公立」で、その「公立保育所」を現政権の支持母体として抱えながら、どう進めるつもりなのか？保育指針の存在もどうなるのか？今後の動向に注目し、それに『対応した動き』が

必要になってくる。その折には、よろしくご協力をいただきました。存じます。

一方、府レベルでは、地域貢献事業である「スマイルサポーター」を充足させました。

今年はその活動に関し、府民への周知を図るとともに（看板もよろしく）、各園長先生には地域の種々の情報を收受していただき、活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

また「大阪府保育士会」創立50周年事業も皆様方のご協力をいただき盛大に開催することができました。この周年事業で、組織体の歴史を再認識し、先達の業績にも感激をいたしました。

実行委員の皆様には心よりお礼を申し上げます。我々『保育部会』も大阪府社協・施設部会の中にあり、近々には60周年を迎えます。大先輩の先生方の業績や『保育部会』の歴史などを再認識いた

したいとも考えておりますので、その節には是非ともご協力をお願い申し上げます。

子どもの最善の利益を念じ 実りある研修と情報を発信

保育士会長 大西 潤 子



新年おめでとうございませう。今年も大阪府保育士会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年11月には、大阪府保育士会創立50周年記念研修会、式典を国際会議場などで多くの福祉・保育関係者の方々のご参加を得て開催することができました。感謝感激の極みでございます。あらためて厚く御礼申し上げます。

「笑顔でつながる」をテーマにしたこの事業も、ご参加いただきました皆様からの「保育士会ががんばりや」「ありがたう」の温かなお声かけに、会場全体が笑顔でつながっていったように感じました。

「こども・未来プラン」 後期計画を策定へ

大阪府子ども室 室長 田中 進

昨年は、地方分権改革推進委員会の第3次勧告において、施設基準等の位置づけの見直しを示される一方、「新たな保育制度」の構築に対する検討・議論が急がれるなど、保育を取り巻く環境が新たな局面を迎えております。

大阪府といたしましては、こうした動向を踏まえながら、府政の最重要課題と位置づけている「子育て支援日本一」を具体化した「こども・未来プラン」の後期計画を本年3月末までに策定するとともに、次代を担う子ども・青少年がひとりの人間として尊重され、創造性に富み、豊かな夢を育むことができる大阪の実現に向けて、保育の充実や、社会全体で子育て家庭を支えるための取り組みを推進してまいります。

今後とも皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますとともに、本年が皆

様にとりまして、実り多き年となりますことを祈念いたします。

手を携えよりよい 保育の実現を

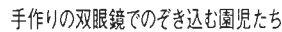
大阪府子育て支援課 課長 小原 理恵

昨年は、保育所保育指針が改定施行され、保育所においては、子どもの保育だけでなく、保護者や地域の子育て家庭に対する支援等を担う社会的な役割がますます重要なものとなり、皆様方におかれましては、創意工夫のもと、子育て支援の取り組みを実践されていることと存じます。

当課におきまして、組織を改編し、子ども施策の一層の充実を図るための取り組みを進めてまいりました。

今後、皆様方と手を携え、子どもたちや保護者にとつてよりよい保育が実現できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

様々な素材に触れ発見の心養つ恒例の造形展
保育士自身が体験通じ子どもと共感深める



毎年11月末に行われる恒例の「造形展」。昨年も「おはなしの世界」が繰り広げられました。ただ「造る」「描く」とどまらず「心を動かされるような体験」「様々な材料・素材に触れる」とを大切にした造形展だそうです。

例えば、「すずめのおやど」のお話がテーマのクラスは、服部緑地公園の日本民家集落博物館に出かけて昔の生活に触れたり、竹やぶの辺りでは

他のクラスでは神秘的な教会へ行ったり、「アラジンと魔法のランプ」にちなみ、国立民族学博物館でアラビア地方の衣装や食器に触れたり……。様々な体験を通じ、子どもたちの知識を深めると共に、発見や心の動きなど一つひとつが育ちに繋がっていることと思われまふ。

このような経験は子どもたちのお話の世界をさらに広げますが、そのためには「作りたいもの」や「頭に描くもの」を形にできる豊富な材料とア

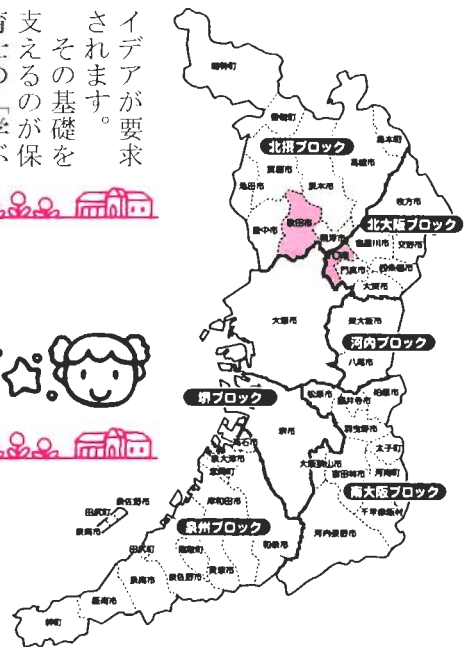
手作りの
双眼鏡で
"おちよ
ん(日本
の昔話し
たきりす
ずめをさ
す)"を
探す子ど

アイデアが要求されます。その基礎を支えるのが保育士の「学ぶ姿勢」です。常に教材研究に努め、保育士自身が「見えて」「聞いて」心を揺さぶられる体験をしなくては、子どもとの共感とは深められな

いと考えておられます。

これは造形活動に限らず保育全般に活かされ、学ぶ姿勢、豊かな感受性を大切に、子どもたちとともに成長することを目指されているようです。

（編集委員 M・K）



病後児保育や専門インストラクターの体操指導
姉妹園との相乗効果で子育て支援センター事業も

保育室を見学中、4、5人の年長の園児たちが「見て！ 見て！」と声をかけてきたので立ち止まりました。初めて見る訪問者のためか、園児たちもしばらくジッと緊張しているようでしたが、先生に促され、そのうちの一人がブリッジから後

転する「技」を見せてく
 れました。手をたたいて
 褒めると、一緒にいた園
 児たちも次々と演じてく
 れました。中には上手に
 側転する園児も。
 同園では専門のインス
 トラクターによる「体操」
 の時間が設けられ、講師
 は月に2、3回来園、
 「先生」と「園児」に指
 導します。次に先生は園



の度合いを確かめながら、それぞれに見合う課題を考える先生方のご苦労の賜物でしょう。

園の廊下には木の板が貼ってありますが、逆立ちができるようにするたいめだそうです。何気ないところに工夫がされていました。

(編集委員 J・F)

堺市 ドリーム保育園

地域と連携深めるカーニバルやふれあい広場
いち早く園児に優しい天然素材を園舎に採用



工夫が凝らされた園舎

ドリーム保育園は平成18年4月、「ドレミ保育園」の姉妹園として堺市西区鶴田町に開園されました。

堺市が、市民の永年の悲願であった政令指定都市への移行を実現し、名実ともに日本の大都市としてスタートを切った時期にあたります。

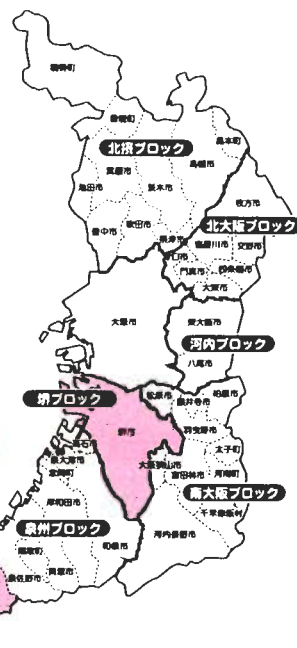
当時、「シックハウス」や「シックスクール」が全国的に社会問題として取り上げられていましたが、同保育園ではこれにいち早く対応されました。園舎には、育ち始めたばかり

の子どものための身体に優しい天然由来100%の建材を全面採用し建設されました。「ものの始まりはなんでも堺」の面影躍如というところ。たとえば、壁は昔ながらの自然素材だけを使った「漆喰」です。特に0歳児、1歳児の部屋は、漆喰にベ

んがら(赤色顔料の一種)を混ぜて温かい雰囲気漂うピンク色の壁にされています。

また、腰板や床や建具は、薬剤処理など一切しない無垢の天然木で、接着剤も米のりが使われています。夏はひんやり涼しく、冬はふんわりと温かい本物の木の優しさが伝わってきます。

方、定期行事としては、「園庭開放」、「カーニバル」、「ふれあい広場」など、待機児童の多い地域で、子育て家庭やお年寄りなどと在園児が集い一



緒に遊べるイベントを開催し、地域との連携を深めることを大切にされています。子どもたちの未来のために、夢輝く保育園でありたいという願いをこめ名付けられた「ドリーム保育園」。子どもたちの無限大の可能性と成長を大切に、日々保育に取り組みれています。同保育園の園舎については左記URLから閲覧できます。
<http://www.dream.ed.jp/>
(編集委員 T・S)

保育園を

たずねて

397



ベッタン、ベッタン!

◎共に育つ力が掲げられており、今年度の目標テーマは「挨拶で広げようみんなの輪」だそうです。みんな元気に、大きな声で挨拶している姿が印象的でした。

泉南市の樽井保育所は昭和50年、南海本線樽井駅前の商店街の近くに公立保育所として開設しましたが、平成20年度の泉南市公立保育所民営化に伴い、貝塚中

◎生きぬく力
◎心ひらく力
◎共に育つ力が掲げられており、今年度の目標テーマは「挨拶で広げようみんなの輪」だそうです。みんな元気に、大きな声で挨拶している姿が印象的でした。

央福祉会(法人本部・貝塚市橋本)が3年間の指定管理制度を受けて運営されている保育所です。近くには関西国際空港があり、飛行機の飛び交う光景が近くに見えます。180人の定員で、0歳から5歳までの9クラスがあります。3、4、5歳児は各2クラス。園児たちはのびのびとしてとても賑やかです。また、病後児の子どもを保育する病後児保育事業も実施されています。

地域のお年寄りの皆さんと楽しい異世代交流
生き抜く・心ひらく・共に育つ力を基本方針に

泉南市 樽井保育所

園児たちには、保育所の中での生活や活動(給食・遊び)を通じて、楽しみ・悲しみ・感動することを学び、友だちを大切にするとともに育ってほしいとの願いをもって、日々の保育に取り組まれているということです。

また、給食提供でも、保育士だけでなく栄養士、調理師、看護師が連携し、きめ細かなメニュー計画に取り組みされているということです。

保育所として歴史もあり、地域の異世代交流、地域交流が盛んです。敬老会など地域のお年寄りの集まりに、園児たちが歌や踊りを発表するため出向いたり、2月にはお年寄りのみなさんを園へ招待し、おじいちゃんおばあちゃんのお遊びを披露してもらうほか、お食事を企画するなど楽しい時間を過ごされているそうです。

(編集委員 N・N)

今後益々、保育の質の向上を目指して

北摂ブロック保育部会 武内 慎吾

最低基準の地方移譲に始まり、保育事業への仕分けも入るのかと思いきや、ここにて保育所運営費の一般財源化の議論が再燃しています。

子育て支援に一応の理

地方分権・地域主権の

ブロック会30周年機に、気持ち引締め保育推進

北大阪ブロック会 亀井 信昭

昨年8月の衆議院選挙で自民党から政権交代をした民主党政権。そして、その新政権が早々に取り組んだ地方分権。いま、地方分権改革推進委員会が出した第三次勧告に伴う保育園の設営基準の地方への権限移譲について、

認可保育園の意義や存続を揺るがすおそれのあるものとなっています。私たちは今一度、児童福祉の理念に基づき、これまでにしてブロック会員園が一致団結し、各自治体によって基準が異なることがないように、関

考え方へ移行する中で、子どもの最善の利益を考え、福祉を積極的に増進することとは正反対の議論に、今後益々、ブロックが一致団結し保育の質の向上を目指して行かなければならないと思います。本年もよろしくお願ひします。

係団体に要請していく必要があります。

そのような中、北大阪ブロック会は本年、創設30周年を迎えます。

今年を新保育元年とし、襟を正し保育推進に取り組んでいく所存です。

日頃の活動をアピールし団結して頑張りたい

河内ブロック会 杉本 三子雄

昨年は新政権、オバマ新大統領、イチロー選手の新記録ということで世相を表す漢字は「新」と決まりました。新政権では新しく事業仕分けという国民の見える形で税の使い道が示され、国民の目が厳しく注がれるよう

になりました。福祉も大きな変革期を迎えようとしている中、子どもの発達を保障する最低限度の基準の緩和、また運営費の一般財源化という大問題について断固反対しなければ地域格差が広がってしまいます。

我々はこれまで以上に、地域の方々に、子どもに対する日頃の取り組みや事業、活動をアピールし理解していただけるよう、今年は寅年、なんとしても運営費・補助金等、トラ（削ら）れないよう河内ブロックは団結して頑張っていきたいと考えております。

ブロックからの年賀状

ブロック保育士会を組織化、さらなる資質向上に取り組む

南大阪ブロック民間保育園連盟 中島 一

南大阪ブロックでは平成21年度、役員改選を受け、保育部会副部会長に選出された齊藤和正先生の下、新たな体制がスタートしました。

今年は、昨年動き始めたブロック

保育士会を正式に組織化し、今までの研修委員会事業との統一化や福利厚生の事業、文化的な事業を通じて、加盟園のご協力を得ながら、保育士のさらなる資質向上につながる活動を活発に行っ

ていく予定です。また、政治・経済状況に左右されがちな昨今の保育制度が改善につながるよう、保育部会の活動に、積極的に協力できる体制作りを目指していきますので、よろしくお願ひいたします。

乳幼児、保護者が幸せになれるよう力を合わせて

堺市民間保育園連盟 池尾 弘久

昨年は、政権が民主党に代わり、行政刷新会議の事業仕分けに保育園の延長保育事業、保育所運営費負担金が増え、分園、新設保育園設置、既設園の建て替えによる定員増をしても、待機児が減らないような状況です。

今年は、民主党政権がマニフェストに掲げていたように、幼保一元化に向けて一歩一歩進んでいくように考えられます。堺市では、入所希望者が増え、分園、新設保育園設置、既設園の建て替えによる定員増をしても、待機児が減らないような状況です。

国の制度が変わっても保育を必要としている乳幼児はなくなりません。私たちの仕事は、世の中に必要とされています。堺市民間保育園連盟では、保育を必要とされている乳幼児、保護者が幸せになれるよう、力を合わせて努力してまいります。

新しい仲間が増え、結束力の強化に努めたい

泉州民間保育協議会 田中正清

昨年は、新型インフルエンザと民主党政権誕生が大きな話題でした。

新型インフルでは皆様の園でも大変な努力を強いられたことと思います。泉州地域でも秋口から流行し、クラス閉鎖を行っ

た市もありました。改めて目に見えぬウイルス、感染力の怖さを実感させられました。新政権では、早々急激な変化はないだろうと思っておりましたが、最低基準の地方への権限移譲に始まり、暮れには民間保

育園の運営費の一般財源化にまで及んでくるとは想像すらできませんでした。泉州ブロックでは、新しい仲間が増えてきております。より結束力を強め、子どもたちのより良い生活環境を守るため、努力してまいります。

泉州ブロックでは、新しい仲間が増えてきております。より結束力を強め、子どもたちのより良い生活環境を守るため、努力してまいります。

ブロックだより

北大阪

施設整備の

具休事例を学ぶ

―年末研修会・懇親会

北大阪ブロック会の平成21年の年末研修会・懇親会が12月3日、ブロック内7市の保育行政担当課のみなさんを含め大勢の方の参加を得てホテル

ニューオータニで開催されました。

亀井信昭会長の挨拶の後、研修会では鳴瀧泰史氏が講演されました。鳴瀧氏はMAN90の施設整備・法人経営・会計などを支援し、児童養護施設の自立支援をサポートするNPO法人を立ち上げるなど幅広く活躍されています。



講演中の鳴瀧泰史氏

鳴瀧氏は、次世代育成ハード交付金・安心子ども基金での施設整備にあたり、各法人で経験された数多くの具休的事例を紹介されました。

また、社会福祉法人の今後の経営のあり方についても、定款・理事長閣長専決・経理規程の隨意契約の整合性について事例を交えながら説明。

各市の補助金差があり、各法人が所在する自治体との関係が非常に大切になるが、政権交代となった現時点で、どんな変化が起きるか未だはつきり分からないだろうと述べられ、懇親会でもその話題でもちきりでした。(江ノ口保育園K・Y)

河内

笑顔こそ子どもを

ひきつける原点

―八尾で保育士研修会

八尾私立保育連盟保育士会主催の「第2回保育士研修会」が「Kansai子ども研究所」の原坂一郎氏を講師に招き、サポート八尾で実施されました。80名を越える保育士が参加しました。原坂氏は「子どもがこつちを向く保育(笑顔が一番)」をテーマに講義されました。

参加者は終了後、「笑顔は子どもたちのために」を肝に銘じて、保育に取り組んでいきたいと話合っていました。(編集委員S・S)

訂正とお詫び

保育おおさか先月号の内容の一部、誤りがありましたので訂正とさせていただきます。誤りがございましたことをお詫び申し上げます。

【訂正内容】

3面記事「保育園をたずねて」の「のぼたけ保育園(豊中市)」正「多文化」(誤「他文化」)
6面記事「各種表彰受賞者」正「めぐみ保育園」(誤「めぐみ峰保育園」)
誤「千里山やまて保育園」正「千里山やまて保育園」

保育に携わる専門職として、どうすれば子どもたちを自分の方に向かせることができるのか、なぜ、子どもたちが自分の方を向かないのか―などが講義内容のポイントでした。

たとえば、子どもたちが「うれしい、楽しい、おもしろい」と感じる時



真剣に講義を受ける参加者

七草粥で胃袋癒し 小正月の小豆粥もまたよし

「旬」

知。この地にはたくさん逸話があり、また例年一度は訪れるおいしい食材のある所で、楽しみにしている。徳谷トマト、自然薯、芋ケンピ、ゆず酢に加え、珍しい花木。以前も書いたが、日曜市の銅物細工の高慢たれのオッサンも。

晩秋になると戻り蟹のタタキが最高だ。加えて、高知にしかない珍味がウツボ、何と

一月、睦月、家族がみんなで仲睦まじく過ごす月。近年子を殺めたり、子が親を：年の初めは穏やかに過ごしたいものだ。朝昼晩とお雑煮を、起きては飲み：胃袋は正月のほうで疲れるかも。その頃の七草粥はピツタリだ。胃にやさしく、ついつい食べ過ぎる。

前夜より洗い漬けていた米を土鍋でソロソロと。添え物には、暮れに漬けた「こうこ」(たくあん)の水が上ってくる頃で、大根辛さが残っていて大変旨い！うま過ぎて1人で1本位食べる時も。

これは元は大根だから消化に良いだろう。15日、小正月の小豆粥もまたよし。昔は鏡餅のカチカチになったのを炭火でこんがり焼いて、が、最近カチカチになる前にカビが生えてくるから、数年、水モチにしているが、あのカチカチを焼いた食感がなく、淋しい気分。

今月末の府外研修は高知。この地にはたくさん逸話があり、また例年一度は訪れるおいしい食材のある所で、楽しみにしている。徳谷トマト、自然薯、芋ケンピ、ゆず酢に加え、珍しい花木。以前も書いたが、日曜市の銅物細工の高慢たれのオッサンも。

(H・N)

発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 正
編集人 永 野 和
編集人 永 藤 齊